

## 編集後記

『遊星人』には専門的な記事が多い、とよく言われます。前号(vol.24, no.3)の特集「日本における衝突研究の軌跡」では、13報の特集論文を含む14報の査読付き記事が掲載されました。お手元に届いた『遊星人』の厚さに驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。運営委員会でも話題にあがったようです。詳細はJSPS Informationをご覧ください。

厚いと言えば、東京のコンビニで見かけた某結婚情報誌の厚さにも驚愕しました。まるで辞書か百科事典です。「情報が溢れる現社会」を具現化するとあんなのでしょうか。あれだけ結婚に関する情報が溢れているのに少子化とは、世の中一体どうなっているのでしょうか。以前、私の妻が「あまりの重さにめげて、購読を諦めた」と言っていたのがひとつの答えなのかも

知れません。

小惑星探査機「はやぶさ」の活躍もあり、惑星科学の魅力が世の中に広まっているのを感じます。一般の方が『遊星人』を手にとられる機会も増えるかも知れません。そのときに、「あまりの難しさにめげて、購読を諦めた」と言われてしまうと、ちょっと寂しいなあと思いました。もう少し気楽に読めるようなコーナーがあってもいいのかも知れません。良い企画をお持ちの方は、ぜひ編集委員にお声掛けを。ちなみに、前号から始まった連載企画『遊星百景「私のお気に入りの地形」』では、地球では見られない珍しい地形を、著者の想いも込めて解説してくれています。本号にはその第2弾が掲載されていますので、ぜひご覧ください。(三浦)